



とべだより

令和5年9月29日

10月号

横浜市立戸部小学校

学校教育目標： それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部

子どもたちに本当に必要な力を付けるために

学校長 保科 優子



いよいよ明日は「とべとべスポーツフェスティバル2023」です。子どもたちは、少しでも速く走りたい、前の時間よりもっと素敵に演技をしたい、と暑い中でも頑張っていました。きっと本番は今まででいちばん素敵な姿を見せてくれることでしょう。

今、教育は大きく変わろうとしています。その変化は、明治の学制に匹敵するほどともいわれています。グローバル化や技術革新、社会環境の変化などを見据えて、子どもたちが時代に適応した「生きる力」を身に付けることが求められます。そのためには、子どもたち自身が様々な事象に目を向け、そこから本気で課題をみつけ、そのために、何をするのかを自分で考えられる、そんな力を育てていかななくてはならないのです。

子どもたちに本当に必要な力を付けるために、戸部小学校では、失敗を恐れず、できることをまずはやってみようとして様々なことに果敢に取り組んでいます。取り組んでいることの一部を紹介します。

「生活・総合」の研究では、子どもたちが本気で課題をみつけ、その解決のために何をするのかを子どもたち自身が考え行動できる力を育てることを大切に、教師はそのための支援を色々考えています。教室ではICTを活用しています。本校はiPadの持ち帰り推進校になっているため、子どもたちは必要に応じてiPadを持ち帰り、宿題をしたり、自分での学習などに使ったりしています。学校説明会でもお話をさせていただきましたが、今年度、3年生以上は、国語の業者テストの利用をやめました。これまでも国語では、自分の思いや考えを伝えるためにどのように書いたり、話したりすればいいのか、読んだり聞いたりする中で相手の考えを受け止め、そこからさらに自分の考えを広げていくといったことを学んできました。iPadが導入されたこともあり、国語の力においては、特に業者テストに頼ることなく日々の学習の中で子どもたちの力を見取ることができるようになったからです。

行事についても見直しています。「とべスポ」は体育の学習での成果を発揮する場として、走ることで、表現に種目を絞りました。「とべコン」は音楽の学習の成果を発揮する場として、音楽の学習の延長となるよう、今年度より5、6年生はたくさんの楽器を使っての合奏ではなく、鍵盤ハーモニカやリコーダーを使っての合奏にします。「とべファン」は生活・総合での成果を発揮する場として、1年間各クラスで取り組んできたことの総まとめとして発表します。

これからの時代を生きる子どもたちに必要な力は、学校だけでは付けられません。今後とも引き続き、保護者・地域の皆様と連携していきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。